

2019年レーザー・ラジアルユース/4.7ユース世界選手権等代表選手選考方針

1. 概要

2019年における代表選考方針を決定しました。2018年からの変更点は以下の通りです。

(1) レーザー4.7ユースの選考大会を一部変更

レーザー4.7ユースについては、選考大会の内2019年5月に唐津にて開催予定のJOCジュニアオリンピック大会に変えて、2019年4月下旬に津にて開催予定のスプリング・レガッタ(仮称)に変更します。

2. ユース代表選考

2-1. ラジアルユース世界選手権(男女)及び4.7ユース世界選手権(男女)

代表選手を下記要領で選考する。

下記(3)の大会及び(4)のラジアル/4.7ユース選考ランキング上位者から世界選手権代表選手を決定する。世界選手権代表選手はJSAFオリンピック強化委員会にJSAF補助対象選手として推薦する。

(1) ラジアルユースおよび4.7ユース世界選手権出場枠数

ラジアルユース 男子4枠/女子2枠

4.7ユース 男子4枠/女子2枠

* 枠数の決定: ILCAより配分され日本レーザークラス協会強化委員会が決定した枠数とする。

* 枠数の変更: JSAF補助対象選手数が代表枠数を下回った場合、代表枠数を削減しJSAF補助対象選手数と同一とする。

(2) JSAF補助対象選手数 / 補助内容

JSAFオリンピック強化委員会が決定し公示

* ラジアルユース/4.7ユースにおいては補助内容が異なる場合がある。

(3) 代表候補選手選考大会

ラジアルユース: 2019年JOCジュニアオリンピックカップ大会上位者1名
(男女区別なし) (5月 唐津)

4.7ユース: 2019年スプリングレガッタ上位者1名
(男女区別なし) (4月 津)

(4) ラジアルユース/4.7ユース選考ランキング

下記大会で獲得したランキングポイントの合計を使用する。

ラジアルユース:

2018年 Laser All Japan Championships (11月 境港)

2019年ミッドウィンター選手権	(2月 光)
2019年YMFSセーリング・チャレンジカップ	(3月 浜名湖)
2019年JOCジュニアオリンピックカップ	(5月 唐津)

4.7 ユース:

2018年Laser All Japan Championships	(11月 境港)
2018年クリスマスレガッタ	(12月 江ノ島)
2019年ミッドウィンター選手権	(2月 光)
2019年YMFSセーリング・チャレンジカップ	(3月 浜名湖)
2019年スプリング・レガッタ(仮称)	(4月 津)

(5) ランキング・ポイント

クラス別ランキングシステムと同様の計算方式に基づくポイントを付与する。ただし大会グレードについては、添付1「ユース選考ランキング対象大会一覧」を参照のこと。

$$\text{ランキングポイント} = E(N-P+1)/N$$

数式の説明:

E = Event Rank (100, 50)

JLCA ユース大会グレード1: 100点

JLCA ユース大会グレード2: 50点

N = 対象大会のエントリー数(Number of Entries)

P = 対象大会における総合順位(Position in regatta)

(6) ランキングポイント付与対象

クラス協会に年間登録しており、ランキング対象大会において参加艇数の上位70%以内(小数点以下は四捨五入)の成績を収めた選手に対し上記ランキングポイントを付与する。

上位70%に入らなかった選手には参加ポイントとして1点を付与する。4大会以上に出場した場合はベスト3大会のポイントの合計を使用する。なお4大会以上に参加した選手には、特別加算ポイントとして1大会毎に0.5点を付与する。

(7) 身体能力測定ポイントの加算について

身体能力測定は、ラジアルユースについては2019年JOCジュニアオリンピックカップ(2019年5月唐津)、4.7ユースについては2019年スプリングレガッタ(仮称)併催の強化練習会にて実施し、添付2「身体能力測定得点表」に基づき合計得点(最大15点)をランキングポイントとして付与する。実施要領については、別途公示される「2019年度身体能力測定実施要領」を参照。

2-2. 冬季海外遠征(ラジアルユース(男女)/4.7ユース(男女))

代表選手を下記要領で選考する。代表者はJSAFオリンピック強化委員会にJSAF補助対象選手と

して推薦される。当該海外遠征は対象クラスの強化を目的としていることから、代表選手は 2019 年レーザーラジアルユース世界選手権もしくはレーザー4.7 ユース世界選手権への参加の意思があり且つ対象年齢条件を満たす者であること、当該クラスでの活動が主であり、2019 年開催の世界選手権に向けてクラス協会もしくは JSAF が主催する強化合宿 / 練習会への参加が基本的に可能であることを条件とする。

(1) 選考大会

2018 年 Laser All Japan Championships (11月 境 港)

(2) 冬期海外遠征代表枠数

ラジアルユース 男子 2 枠 / 女子 2 枠 (注1)

4.7 ユース 男女各 1 枠 (注1)

(注1) 最終エントリー状況により派遣艇種の代表者枠数を変更する場合がある

2 - 3 . 2019 年 ユース・セーリング・ワールド (ラジアルユース 男女各 1 枠)

選考方法については、JSAF オリンピック強化委員会発表のレース公示を参照のこと。

JSAF オリンピック強化委員会 : <http://jsaf-osc.jp/>

3 . 全クラス 共通事項

(1) 参加艇数について

大会会場に来なかった選手もしくは全レース DNC となった艇については、参加艇数としてカウントしない。

(2) 選考大会成立レース数

指定大会において、成立レース数が 3 レース未満の大会は選考対象としない。

ただし、ユース選考ランキングにおいて、成立したレガッタについては実施レース数に関わらずカウント対象とする。

(3) 指定大会における選考資格者がその資格を辞退した場合について

選考された大会の最終成績順に次点の下位選手へ繰り下げる。それ以降はユース選考ランキング上位者から選定する。

(4) 選考資格者が複数の選考審査項目において獲得する権利を有する場合

ユース選考ランキングにおける権利獲得を優先する。指定大会における枠の付与は次点まで繰り下げを行うが、それ以降はユース選考ランキング上位者から選定する。

ただし、2 - 1 .(1) にて指定された枠数を超える繰り下げは行われない。

(5) 選考委員会について

選考委員会の構成はレーザークラス協会強化委員長、強化副委員長、強化委員及び強化委員会依頼のコーチで構成される。

(6) 世界選手権等出場枠の配分について

小数点以下については四捨五入で算定する。

ILCA からの参加枠付与が減少した場合、指定大会における権利獲得者を優先することとし、残りの枠についてはユース選考ランキング上位者から選考枠を付与する。

(7) タイの解き方

選考大会総合成績及びランキングにおいてタイが発生した場合は、添付 1「ユース選考ランキング対象大会一覧」にある大会番号の若い順の成績からタイを解く。

(8) レーザークラス協会会員登録について

各選考大会に参加する選手については、日本レーザークラス協会への会員登録を必須とする。

4 . その他

(1) 国際大会派遣等について

選考大会が実施できない場合、もしくは選考大会不成立等により代表選手を決定できない場合は、最終の選考大会実施時点でのクラス別日本ランキングの上位選手より代表を決定し、JSAF オリンピック強化委員会へ推薦する。但しラジアルユース、4.7 ユースについてはラジアルユース選考ランキング、4.7 ユース選考ランキング結果を優先する。

(2) 本選考方針及び最新ランキング等の更新情報

日本レーザークラス協会の Web サイトに随時掲載される。

日本レーザークラス協会 : <http://www.laserjapan.org/>

(3) 本件についての質疑等

日本レーザークラス協会強化委員会あてメールもしくは F A X にて問合せ

日本レーザークラス協会強化委員長 佐々木共之

電子メール アドレス : ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

FAX : 0 4 6 7 - 7 6 - 1 0 5 2

添付 1 ユース選考ランキング対象大会一覧(2018年9月現在)

大会 番号	対象大会	開催時期	開催地	大会グレード		Event Rank		備考
				For Youth		For Youth		
				Rad	4.7	Rad	4.7	
Y-1	JOC ジュニア・オリンピック・カップ	2019/05	唐 津	1	-	100	-	Radial 最終選考
Y-2	スプリング・レガッタ(仮称)	2019/04	津	-	1	-	100	4.7 最終選考
Y-3	Laser All Japan Championships	2018/11	境 港	1	2	100	50	
Y-4	YMFS セーリング・チャレンジカップ	2019/03	浜名湖	2	2	50	50	
Y-5	ミッドウインター・レガッタ	2019/02	光	2	2	50	50	
Y-6	クリスマス・レガッタ	2018/12	江ノ島	-	2	-	50	

(注) ユース選考ランキング対象大会及びグレード等は変更となる可能性がある

添付 2 身体能力測定得点表(2018年9月現在)

性別	得点	シャトルラン 20m	反復 横とび	腹筋	斜懸垂	腕立て 伏せ	握力
男	3点	110回	—	70回	25回	50回	—
	2点	100回	65回	60回	20回	35回	—
	1点	90回	60回	50回	15回	25回	55kg
	0.5点	85回	55回	45回	10回	15回	50kg
女	3点	90回	—	60回	20回	35回	—
	2点	80回	55回	50回	15回	25回	—
	1点	70回	50回	45回	10回	15回	40kg
	0.5点	60回	45回	40回	5回	10回	35kg

*実施要領及び最新情報については、別途公示される「2019年度身体能力測定 実施要領」を参照
測定当日の天候及び参加人数等の状況により、実施しない項目が発生する可能性がある

(得点例)

		シャトルラン 20m	反復 横とび	腹筋	斜懸垂	腕立て 伏せ	握力	合計
男 (Rad)	A	110回	66回	62回	25回	27回	53kg	
		3点	2点	2点	3点	1点	0.5点	11.5点
女 (4.7)	B	68回	50回	46回	12回	25回	42kg	
		0.5点	1点	1点	1点	2点	1点	6.5点

男Aに、ランキングポイントとして11.5点が加算される。

女Bに、ランキングポイントとして6.5点が加算される。

添付3 2019年レーザ一級世界選手権一覧 (2018年9月現在)

2019 ILCA Laser Radial Youth World Championships

Wednesday 24 July 2019 - Wednesday 31 July 2019

CANADA, Kingston

2019 ILCA Laser 4.7 Youth World Championships

Friday 16 August 2019 - Friday 23 August 2019

CANADA, Kingston

*最新情報については、ILCAのWebサイトを確認願います。

<https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list>

添付4 2019年 Laser4.7 Youth/Radial Youth/U21 世界選手権への参加資格 (対象年齢)

Age*	12	13	14	15	16	17	18	19	20
Birth Year**	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
Laser 4.7	UNDER 16				UNDER 18				
	Laser Radial Youth			UNDER 17		UNDER 19			
	Laser Radial Women					UNDER 21			
	Laser Standard Men					UNDER 21			

*世界選手権開催年に競技者が迎える年齢

**2019年世界選手権に参加資格のある競技者の誕生日

<Laser4.7 対象年齢>

2002年1月1日～2007年12月31日までに生まれた者

<Laser Radial Youth 対象年齢>

2001年1月1日～2004年12月31日までに生まれた者

<Laser Radial Women/Standard Men U21 対象年齢>

1999年1月1日～2002年12月31日までに生まれた者

添付5 2018-2019年 Youth 関連イベント

49th Youth Sailing World Championship 2019

Gdynia Poland

<http://www.worldsailingywc.org/about/venues.php>

2019 Australian Youth Championships

10-14 January 2019 Australian Youth Championships

Venue: Tasmania Australia

以上